

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 5 年 10 月 12 日(2023.10.12)

【国際公開番号】WO2022/158487

【出願番号】特願 2022-576718(P2022-576718)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00(2006.01)

B 3 2 B 27/18(2006.01)

B 3 2 B 27/32(2006.01)

B 6 5 D 65/40(2006.01)

10

【F I】

B 3 2 B 27/00 M

B 3 2 B 27/18 Z

B 3 2 B 27/32 E

B 3 2 B 27/32 Z

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 4 月 12 日(2023.4.12)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材層と、積層フィルムの一方向の最表面となるシーラント層とを含む積層フィルムであって、

前記基材層が、密度 $0.942 \sim 0.970 \text{ g/cm}^3$ 、温度 190 および荷重 2.16 kg 条件下でのメルトマスフローレートが $0.1 \sim 3.0 \text{ g/10min}$ の高密度ポリエチレン(A) $77 \sim 99$ 質量部と、密度 $0.930 \sim 0.960 \text{ g/cm}^3$ の超高分子量ポリエチレン(B) $1 \sim 23$ 質量部との合計 100 質量部を含有することを特徴とする積層フィルム。

30

【請求項 2】

前記基材層の超高分子量ポリエチレン(B)の平均粒径が $5 \sim 200 \mu\text{m}$ で、且つ重量平均分子量が 50 万以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の積層フィルム。

【請求項 3】

前記基材層が、隠蔽剤(C)を 5 質量部以下の割合で含有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の積層フィルム。

40

【請求項 4】

前記隠蔽剤(C)が酸化チタンであることを特徴とする請求項 3 に記載の積層フィルム。

【請求項 5】

前記シーラント層がポリエチレン樹脂からなる層であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の積層フィルム。

【請求項 6】

前記基材層のシーラント層と反対側にポリエチレン樹脂からなる層を有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の積層フィルム。

【請求項 7】

50

前記基材層が、前記高密度ポリエチレン（Ａ）と前記超高分子量ポリエチレン（Ｂ）とを溶融混練してなる樹脂組成物から形成されていることを特徴とする請求項 １ または ２ に記載の積層フィルム。

【請求項 ８】

基材層が、押出成形によりフィルム状に成形されていることを特徴とする請求項 １ または ２ に記載の積層フィルム。

【請求項 ９】

請求項 １ または ２ に記載の積層フィルムを用いて形成されたことを特徴とする包装袋。

10

20

30

40

50